

ジュニア科学クラブ ?



夏休みの天体観察

星の観察をしてみたい！と思っても、ふだんはなかなか夜ふかしもできないし、大阪だと星もたくさんは見えないし、などということがあると思います。夏休みであれば、少し夜ふかしをしてもいいかな？という日もあると思います。ふだんはなかなかできない星の観察に、じっくり取り組んでみましょう。

明るい星を見つけよう

夜空に見える星は、明るい星もあれば、暗い星もあります。明るい星は、都会でもかんたんに見つけることができます。「夏の大三角」や「さそり座のアンタレス」、「うしかい座のアークトゥルス」など、星のならば方を自分の目で実際に確かめてみましょう。

月を観察してみよう

月をじっくり観察すると、いろいろおもしろいことに気づくことができます。まず、月が見える時刻は、毎日変化しています。夜になったらいつでも月が見える、というわけではありません。今年の夏休みで、あまり夜ふかしなくても月を観察することができるのは、8月1日ころから8月14日ころです。毎日観察すると、他の星と比べて月の位置が毎日少しずつ変化していたり、月の形が少しずつ変化していることが分かります。

もしも望遠鏡を持っているなら、望遠鏡で月を観察すると、クレーターや月の海を観察することができます。望遠鏡を持っていなくても、望遠鏡を見学できる施設にお出かけして観察するチャンスもあるかもしれません。

火星食は月が動いているのを実感するチャンス

7月21日の深夜から日付が変わって22日の未明に、「火星食」が起こります。これは、月の向こう側に火星がかくされる、めずらしい現象です。大阪

ここから2ページはジュニア科学クラブ(小学校5・6年生を対象とした会員制)のページです。

では、22日0:14ころに月のかげから火星が現れて、火星食が終わります。この時間は、月の位置は東の空のとても低い位置なので、見晴らしの良い場所でないと、観察がむづかしいです。ですが、火星食が終わった後も観察を続けると、月と火星のならんでいる間隔が少しずつ広がっていくことが、望遠鏡を使わなくても観察できます。夜のおそい時間ほど、月も高くなるぼつてきて観察がしやすくなります。夜おそい時間まで起きていないといけません、お天気が良ければ、観察にチャレンジしてみましょう。

流れ星を観察してみよう

8月13日の朝を中心に、「ペルセウス座流星群」を観察するチャンスがあります。流れ星を実際に観察するチャンスなので、天気がよければ観察に挑戦してみましょう。

観察は安全な場所で

天体観察を行うときは、必ず安全な場所で行いましょう。公園などで観察するときは、大人の人と一緒に観察しましょう。道路のわきや駐車場など、車が来る可能性のある場所での観察はぜったいにやめましょう。

いいやまおおみ(科学館学芸員)

7月のクラブ

7月17日(日) 10:05 ~ 10:45

◆集 合：プラネタリウムホール(地下1階)
9:30~9:55の間に来てください

◆もちもの：会員手帳・会員バッジ

◆内 容：10:05~10:10 7月、8月、9月のクラブについて連絡
10:10~10:45 プラネタリウム「夏休みの天体観察」見学

- ・途中からは入れません。ちこくしないように来てください。
- ・プラネタリウムは、一般の方と一緒に見学していただけます。ご家族の方も、観覧券をご購入のうえご覧いただけます(※満席の場合はご覧いただけません)。
- ・観覧券は5日前の午前10時よりインターネットでご購入いただくこともできます。詳しくは、科学館公式ホームページをご覧ください。
- ・7月のクラブでは、「てんじ場たんけん」は行いません。

※変更等がある場合があります。

クラブ当日についての詳細は、科学館公式ホームページのお知らせ欄

(<https://www.sci-museum.jp/>)または右の2次元コードよりご確認ください。

また、科学館の最新情報も合わせて科学館公式ホームページにてご確認ください。

